

千歳中だより

🎐 大切に作る 素直・正直 気づく



令和8年1月30日

No. 9

世田谷区立千歳中学校

校長 和田 祐一郎

新年を迎えて

校長 和田 祐一郎

新年明けましておめでとうございます。保護者・地域の皆様には、ご家族とともに健やかな新年をお迎えになられたことと存じます。新しい年を迎え、教職員一同、心を新たに子供たちの健全育成に全力で取り組みたいと存じます。

今年も昨年同様に千歳中の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、13日間の冬休みでしたが、今年のお正月はどんなお正月だったでしょうか。

本来、お正月とは、「年神様をご自宅にお迎えするための行事」であり、家族全員で年神様をもてなして新年を歓び、新しい1年の健康や幸福を授けてもらうために行われるものです。「年神様」とは、お正月の神様のことで、五穀豊穰や子孫繁栄を司るとされています。その年神様をお迎えするために、年末の大掃除や年越しそば、お正月飾り、お雑煮、おせち料理、初もうでなど様々な正月行事が行われるようになりました。このようなことから、お正月を迎えることは特別な意味があり、大変めでたいので、「明けましておめでとうございます」と挨拶を交わし、無事に年を越すことができた感謝と新年の希望を込めて正月を祝うのだそうです。

生徒の皆さんが通う千歳中あるこの地域は様々なイベントや地域の活動が行われています。皆さんには学校のみならず地域や郷土の素晴らしい伝統や文化を伝える活動に参加してほしいと思います。特に、今の中学生たちは自然体験や生活経験などの不足が指摘されています。地域の行事への参加や各家庭で行われる豊かな体験や経験が、生徒の創造力や共感を豊かにするとともに、自己肯定感や自己有用感を高めていくことにつながります。今後も、地域や郷土の伝統や文化を尊重しながらも、豊かな体験や経験を獲得してくれることを願っています。

さて今年干支の7番目となる午（うま）年、方位でいうと南の方角（子午線）、時刻は12時（正午）となります。午年の言い伝えには「活気があり、新しいものが生まれる力強さ」があり、特に丙午（ひのえうま）の年は、「情熱や行動力、変化を象徴する」とされ、物事を大きく広げていくエネルギーをもつとされているようです。疾走する馬のようにたくましく、美しく、エネルギッシュに活躍する皆さんの姿を楽しみにしています。

始業式でも話をしたように、3年生は卒業式の日「千歳中はやっぱりいい学校だなあ」と実感できるように。1、2年生は「このクラスでよかったなあ」「来年度のクラスも楽しみだなあ」と言えるよう、ラスト3ヶ月、君たち一人一人が、クラスメートや同じ学年の生徒、そして先輩や後輩に対して、思いやりをもって行動してください。

最後に、北原白秋（詩人）言葉を紹介します。

たった一言が人の心を傷つける。たった一言が人の心を温める。



言葉の選び方や伝え方によって、相手に与える影響は大きく異なります。否定的な言葉や相手を責める言葉は、相手の心を傷つけ、自信をなくさせてしまうことがあります。一方、励ましの言葉や、相手の頑張りをほめる言葉は、相手の心を温め、やる気を引き出すことができます。言葉の力は非常に大きく、ちょっとした言葉が人を傷つけたり、心を温めたりします。仲間と話す言葉やSNSにのせる言葉について、今一度考えてみてください。

俺の敵は、だいたい俺です

3 学年主任 五十嵐 巧

この言葉は、漫画「宇宙兄弟」の中での主人公が話した言葉です。受験を前にした今、みなさんの中には、不安や焦りで「自分には無理かも」「失敗したらどうしよう」と思う瞬間があるかもしれません。それは今、自分自身に誠実に向き合っている証拠です。努力してきた時間、積み重ねた経験は決して裏切りません。大切なのは、できない理由を探すのではなく、できると信じて一歩を踏み出すこと。甘える自分に勝って、最後までやり切ろう。君たちはここまで努力してきました。入試、進路決定を通して、自分自身を見つめなおす。「自立」そして「大人」の第一歩、次のステージに踏み出そうとしているみなさんを応援しています。



新年を迎え、学年に思うこと

2 学年主任 加藤 敦

2026年が始まりました。早々に目に飛び込んできた言葉は、『年の初めにやるべきは、目標設定ではなく、去年を整えること』でした。

学級委員会が2学期末に行った振り返りを思い出しました。頑張る仲間を応援する姿勢がある2年生。温かい関係を深め、協力して生活する様子に成長を感じました。学習面でも協力すること、さらにフォローを増やしていくことを課題として、互いに高め合おうと3学期への展望を語っていました。2025年は、たくさんの成長に恵まれた一年でした。

始業式に、たすき宣言が貼り出されました。更なる成長を求める一人一人の想いを、とても嬉しく思います。彼らが自身の成長や課題に向き合い、心を整え、新たな目標に進んでいくことを、学年教員一同、温かく応援したいと思います。本年もどうぞ宜しくお願いします。



新年を迎え学年に思うこと

1 学年主任 大矢 嘉郎

新しい年を迎え、三学期が始まりました。三学期は一年間のまとめであると同時に、次の学年へとつながる大切な準備期間です。四月からは中学二年生となり、学校生活の中では「先輩」としての立場になります。これまで以上に自分の言動が周囲に与える影響を意識し、後輩の手本となる姿が求められます。本校の合言葉である『たすき』を、日々の行動を通して後輩たちに繋いでいってほしいと思います。誰もが安心して学校生活を送れるよう、一人一人が相手の立場を考え、思いやりをもった行動を心がけてください。残りの期間、学年全体で互いを認め合い、高め合い、全員が安心して過ごせる学年を目指して取り組んでいきたいと考えています。



保護者の皆様には、引き続き温かいご支援とご協力をお願いいたします。

新年を迎えて

生徒会長 2年F組

昨年、自分が生徒会長に就任し、とにかく仕事を全うすることのみを考え、あいさつ運動や公約の達成に向け、ひたむきに取り組んできました。更には、全校生徒の前で話す機会や、全校の代表として話し合いをする場での指摘などを受け、本当に必要な会話とは何なのか、生徒会は学校をより良くする為にある組織ということを理解することができました。

昨年のこれらの学びを活かして、今年はずでに行った、小さなありがとうを可視化する「ありがとうカード」や、公約でもある投書箱の活性化やアンケートを活用し、その声をもとに全校生徒への発信を増やし、活動内容や取り組みの目的を分かりやすく伝えることで、生徒会活動への理解と関心を高めていきたいと考えています。今後とも生徒会活動へのご理解とご協力の程、よろしくお祈りいたします。



スクールカウンセラー出勤予定日
※千歳中相談室直通電話
(3300) 7321

杉本 尚子

2/2(月)2/9(月)2/16(月)

麻生奈央子

2/12(木)2/18(木)2/26(木)

桂 玲

2/6(金)2/20(金)2/27(金)